

広域緊急援助隊

平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、災害対策のエキスパートチームとして、同年6月、各都道府県に設置されました。

同隊は、被災者の救出救助を行う警備部隊、緊急交通路の確保を行う交通部隊、検視・身元確認等を行う刑事部隊で構成されており、国内で大規模な災害が発生した場合には、直ちに被災地等に派遣されます。



※ シンボルマーク

マーク全体は鳥をイメージし、部隊の迅速な出動を再現しているほか、鳥の胴体は日本列島、翼はセーフティー・スピーディー・スペシャリストの「S」、赤色の丸は被災者救出に寄せる広域緊急援助隊の情熱、黄色の丸は警察と地域の連帯の輪を、それぞれ示しています。

【土石流災害(令和3年7月 静岡県)】



【令和2年7月豪雨(熊本県)】



【九州北部豪雨(平成29年7月 福岡県)】

